

# 令和7年度 JOBクラス(金) 年間カリキュラム

## 【ねらい】

- ①コミュニケーション能力の向上(対人スキル/会話のキャッチボール)。
- ②社会的な生活スキルの向上(SSTを通して身に付ける)。
- ③就労体験を通して、SSTで学んだことを般化させ、将来に繋げていく。

## 【支援方針】

- ①対人スキルや言葉を介したやり取りなどを学んでもらえるように、SSTを取り入れる。
- ②就労体験では児の得意不得意を見極めながら、将来に繋げられるような作業内容を提示する。

	種目	目的・ねらい	身に付けてほしい力(5領域) ●健康・生活 ●運動・感覚 ●認知・行動 ●言語・コミュニケーション ●人間関係・社会性	※予想されること、◎注意点 (前年度の課題と今年度の改善策)	
4月	第1週目 就労体験  第2・3・4週目 ソーシャルスキルトレーニング (SST)	○自分の得意・不得意を把握する。 ○他児と交流を持ち、関係性を構築する。	【健康・生活】 ○身体を整える。 ○基本的な生活スキルの獲得  【運動・感覚】 ○姿勢保持 ○粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。  【認知・行動】 ○五感の感覚や認知の活用。 ○知覚から行動への認知過程の発達と向上。 ○概念の形成(数、大小、色など)。 ○場に適した行動ができるようになる。  【言語・コミュニケーション】 ○言語の形成と活用。 ○受容言語と表出表現の増加。 ○人との相互関係によるコミュニケーション能力の向上。 ○コミュニケーションツールの開拓 (指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等) ○読み書き能力の向上。  【人間関係・社会性】 ○アタッチメント(愛着行動)の形成。 ○模範行動の獲得。 ○感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ○一人遊びから協同遊びへの移行。 ○自己理解とコントロールができるようになる。 ○集団への参加。	○進学・進級による環境の変化から情緒が乱れ、活動への集中が難しくなる。 ⇒児童のレベル、ペースにあったスケジュールを進めていく。	
5月					
6月					
7月		○活動時間中、集中して一つの仕事に取り組むことができるようになる。		【健康・生活】 ○身体を整える。 ○基本的な生活スキルの獲得  【運動・感覚】 ○姿勢保持 ○粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。  【認知・行動】 ○五感の感覚や認知の活用。 ○知覚から行動への認知過程の発達と向上。 ○概念の形成(数、大小、色など)。 ○場に適した行動ができるようになる。  【言語・コミュニケーション】 ○言語の形成と活用。 ○受容言語と表出表現の増加。 ○人との相互関係によるコミュニケーション能力の向上。 ○コミュニケーションツールの開拓 (指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等) ○読み書き能力の向上。  【人間関係・社会性】 ○アタッチメント(愛着行動)の形成。 ○模範行動の獲得。 ○感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ○一人遊びから協同遊びへの移行。 ○自己理解とコントロールができるようになる。 ○集団への参加。	○活動への慣れから、作業が雑になる。 ⇒児童のモチベーションになるものを提示し、最後まで集中して作業に取り組むことができるようにする。
8月					
9月		○周りのことを考えて行動できるようになる。		【健康・生活】 ○身体を整える。 ○基本的な生活スキルの獲得  【運動・感覚】 ○姿勢保持 ○粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。  【認知・行動】 ○五感の感覚や認知の活用。 ○知覚から行動への認知過程の発達と向上。 ○概念の形成(数、大小、色など)。 ○場に適した行動ができるようになる。  【言語・コミュニケーション】 ○言語の形成と活用。 ○受容言語と表出表現の増加。 ○人との相互関係によるコミュニケーション能力の向上。 ○コミュニケーションツールの開拓 (指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等) ○読み書き能力の向上。  【人間関係・社会性】 ○アタッチメント(愛着行動)の形成。 ○模範行動の獲得。 ○感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ○一人遊びから協同遊びへの移行。 ○自己理解とコントロールができるようになる。 ○集団への参加。	○他者の気持ち想像することが難しい。 ⇒ロールプレイを通して、疑似体験をしてもらう。
10月					
11月					
12月					
1月					
2月		○グループワークに取り組み、他者と自分の意見に折り合いをつけることができるようになる。		【健康・生活】 ○身体を整える。 ○基本的な生活スキルの獲得  【運動・感覚】 ○姿勢保持 ○粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。  【認知・行動】 ○五感の感覚や認知の活用。 ○知覚から行動への認知過程の発達と向上。 ○概念の形成(数、大小、色など)。 ○場に適した行動ができるようになる。  【言語・コミュニケーション】 ○言語の形成と活用。 ○受容言語と表出表現の増加。 ○人との相互関係によるコミュニケーション能力の向上。 ○コミュニケーションツールの開拓 (指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等) ○読み書き能力の向上。  【人間関係・社会性】 ○アタッチメント(愛着行動)の形成。 ○模範行動の獲得。 ○感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ○一人遊びから協同遊びへの移行。 ○自己理解とコントロールができるようになる。 ○集団への参加。	○集団で意見を発表することが難しい。 ⇒ペアワークなどからスモールステップで他者へ意見を伝える練習を行う。
3月					